

計画策定の趣旨と背景

- 介護保険制度は、H12に創設。介護サービスの利用者、提供事業者ともに増加。
- これまで人口や利用状況、高齢者のニーズ等に応じて、制度の見直しが実施。
- 第5期(H24)計画以降、住み慣れた地域で自分らしい暮らしの支援等を図るため、「地域包括ケアシステム」の構築を推進。
- またこの間、国においては、制度・分野の枠や「支える側」「支えられる側」という従来の関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、一人一人が生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる「地域共生社会の実現」の構築を推進。
- R7には団塊の世代が75歳以上に到達。
- これまで以上に中長期的な地域の人口動態や介護ニーズの見込み等を踏まえて介護サービス基盤の整備、地域包括ケアシステムの深化・推進や介護人材の確保、介護現場の生産性の向上を図るための施策等を介護保険事業計画に定めることが重要。

本市の高齢者を取り巻く現状

- 市の総人口は減少傾向で、65歳以上の人口もR3以降減少傾向。一方、高齢化率は右肩上がり。
- 75歳以上の人口は、R17がピーク。
- 65歳以上の高齢夫婦世帯・高齢単身世帯ともに増加。特に、単身(一人暮らし)の高齢者の増加が顕著。
- 認知症高齢者も近年、増加傾向。
- 要介護・要支援認定者数は、微増傾向。認定率は、2割前後で推移。
- H28からR3までは要介護2が最も高かったものの、R4は要介護1が最も高くなるなど、要介護度の軽度化が進行。
- H30以降のサービス別の受給者数について、居宅サービスは微増傾向、施設サービスはおおむね横ばい。一方、地域密着型サービスは増加傾向。
- 介護サービスの総給付費は、R元以降増加傾向にあり、「居宅サービス」と「地域密着型サービス」が増加傾向。

高齢者福祉施策・介護保険制度を取り巻く環境の変化

○国の次期(第9期)基本指針(案)【基本的な考え方】

1. 介護サービス基盤の計画的な整備
    - ①地域の实情に応じたサービス基盤の整備
    - ②在宅サービスの充実
  2. 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組
    - ①地域共生社会の実現 ②医療・介護情報基盤の整備
    - ③保険者機能の強化(介護給付適正化事業(ケアプラン点検等)の重点化・充実等)
  3. 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び介護現場の生産性向上
- 介護保険法の一部改正(R6.4.1施行)地域包括支援センターの業務の見直し(ケアマネ事業所も介護予防支援を実施可能等)等  
 ○共生社会の実現を推進するための認知症基本法の成立(R6.1.1施行)

【目標1】生涯現役社会の実現と自立支援、健康づくりの推進

施策1	生活支援コーディネーターの配置及び協議体の設置	
施策2	インフォーマルサービスを含めた多様な生活支援サービスの充実・開発	★重点(市)
施策3	住民主体の「通いの場」づくりの促進、リハビリ専門職等による介護予防事業の機能強化	★重点
施策4	地域ケア会議の内容と機能の充実	★重点

【目標2】認知症になっても安心して暮らせる体制の構築

施策5	人口の20%以上の認知症サポーター養成と活動の活性化	
施策6	認知症高齢者等の行方不明の予防及び早期発見のための見守りネットワークづくり	
施策7	認知症地域支援推進員の配置と認知症ケアパスの普及	
施策8	認知症カフェ等の設置の推進	
施策9	認知症初期集中支援チームの活動から抽出された地域課題の地域ケア会議での検討等	
施策10	成年後見制度の利用促進に向けた取組の推進	
施策11	段階的・計画的な権利擁護支援の地域連携ネットワークの構築等	★重点(市)
施策12	高齢者虐待の対応窓口、虐待防止に関する制度等の住民への周知・啓発等	★重点

【目標3】在宅でも安心して暮らせるための医療と介護の連携・在宅医療基盤の充実

施策13	医療・介護提供体制の目標及び施策・事業の具体化	
施策14	個別地域ケア会議と認知症疾患医療センターとの連携	
施策15	地域包括支援センターの業務状況等の評価・点検及び必要な体制の充実	★重点(市)

【目標4】住民・地域の实情に応じた多様な住まい・サービス基盤の整備・活用

施策16	早期に居宅サービスが必要な方への住環境の整備・居住系サービスの整備
施策17	早期に住まいが必要な方への施設サービスの整備
施策18	市営住宅等のバリアフリー化等の推進、高齢者の優先入居措置の実施
施策19	公共交通サービス等の充実

【目標5】多様な介護人材の確保及び定着や介護サービスの質の確保・向上

施策20	多様な介護人材の確保・定着に向けた県等との連携	
施策21	要介護認定の平準化に向けた取組の推進	
施策22	介護給付の適正化に向けた取組の推進	★重点

【目標6】自然災害・感染症への対応

施策23	自然災害や感染症対策に対する備えの取組
------	---------------------

その他、高齢者とその家族を支援する事業

ニーズ調査等によると、高齢者の多くは、介護が必要な状態になっても、可能な限り在宅で生活を続けることを希望していることから、安心して自立した生活を送れるよう、必要な福祉サービスを実施。  
 また、家族等の介護者が地域の中で孤立することなく、また介護しながら働き続けることができる社会を目指し、介護者の身体的・精神的な負担を軽減につながる支援を実施。

第9期事業計画期間における介護保険料

介護保険料は、次のように一人当たりの平均的な保険料額(=基準額)を算出し決定

$$\begin{array}{c}
 \text{基準額} \\
 (72,000円) \\
 ※年額
 \end{array}
 =
 \begin{array}{c}
 \text{八代市に必要な} \\
 \text{介護サービスの} \\
 \text{総費用}
 \end{array}
 \times
 \begin{array}{c}
 \text{65歳以上の} \\
 \text{方の負担割合}
 \end{array}
 \div
 \begin{array}{c}
 \text{八代市に住む} \\
 \text{65歳以上の方} \\
 \text{の人数}
 \end{array}$$

【第8期】78,000円

やつしろ・げんき健康プラン

(八代市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画)  
 人として尊重され、地域の支えあいにより安心して暮らせるまち

みんなのえがお八代プラン

(第4次八代市地域福祉計画・八代市地域福祉活動計画)  
 地域のつながりと支え合いで築く安全・安心な暮らし

第2次八代市総合計画

<<将来像>>  
 しあわせあふれるひと・もの交流拠点都市“やつしろ”